

エコドライブ

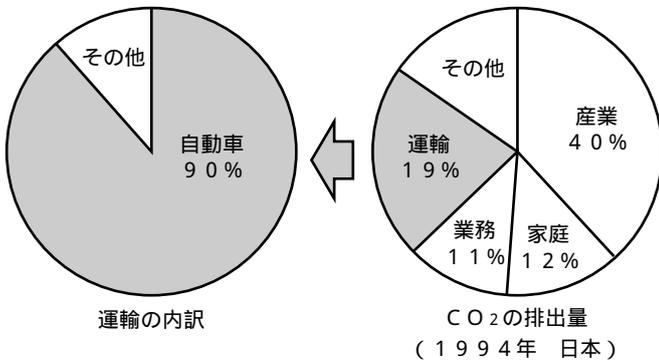
PRIVATE

私事でなんなんですが、7月に車を買って早5ヶ月。省エネルギーやCO₂による地球温暖化などを調べていて「車」が環境に大きな影響を与えることは分かっています。車社会の世の中で車がないと困ることがたくさんあります。

車所有者の一人として、少しでも地球にやさしい車の乗り方を調べてみました。

車とCO₂

実際に車がどの程度環境に影響があるのかをちよつと調べてみました。まず下の表を見ていただきたい。右の表がCO₂の排出量です。自動車が含まれる運輸部門は19%。運輸部門で自動車はどれくらい占めるかというところは単純計算19%×0.0・9=17%が自動車から排出されるといふことになり、これだけの量になります。一台一台がちよつとつづつ減らしただけでもかなりのCO₂の削減につながりそうです。



アイドリングストップ

そこで、最近良く耳にする「アイドリングストップ運動」。信号待ちや荷物の上げ下ろしなど駐車時に自動車のエンジンを停止させておくこと。エネルギー消費量の削減や、それに伴う大気汚染物質、地球温暖

化物質の排出抑制につながるとされています。

実際どれほどの効果があるのか？と疑問のあなたのためにこんな資料を見つけました。一般道路3700キロを信号待ち時にアイドリングストップをしながら走破する調査を行い、全工程の平均燃料消費量の削減率5.8%という結果でした。信号待ちの多い都市部では13.4%も削減されるそうです。(省エネルギーセンター調べ)

実際にやってみました

と言うことで、アイドリングストップの記事を某新聞で読んでから実際にやってみました。信号で止まるたびにエンジン切つて、青になったらまたエンジンかけて、ん、これって結構面倒くさい。これが率直な感想です。特に渋滞のときなんかは切つてはかけての繰り返し頻繁で特に面倒くさいです。そこで、もうちよつとハードルを下げて、十字路の信号などちよつと長めの信号のときにアイドリングストップを実行。ん？これならばそれほどストレスにならない。しかも地球にもやさしい！

どうです！みなさんも長めの信号からアイドリングストップを試してみれば……

えっ自動で！

アイドリングストップを調べていて見つけたのが「自動アイドリングストップ機能付き自動車」。一部のバスなどはすでに導入しています。乗用車ではトヨタ・スズキ・ダイハツの一部の車種で販売中です。停車時に勝手にエンジンが切れて、アクセルオンでエンジンが始動するみたいです。これなら短い信号待ちでも勝手にアイドリングストップできていいですね。もしこの機能が全ての乗用車に採用された場合、国内の省エネルギー年間約500万キロリットルになると試算されています。CO₂に換算すると約1300万トン。国内全排出量の約1%にあたる大きな数字です。

最後に

将来的にはクリーンエネルギーの開発も進むでしょうが、今は省エネCO₂の排出量の削減にどのように取り組むかです。私も次の車を購入するときは、ハイブリット車や自動アイドリングストップ付きの自動車など地球にやさしい車にしようと思います。